取扱説明書

ナショナル PQ−10, *Ninja 1280CH*
ナショナル PC−10D
ビクター FC−5

図を見て理解できない場合、改造は行わないでください。
電話等でのお問い合わせには応じられません。
失敗すると修理不能になりかねませんので、
その時は無理をせず 弊社に改造を依頼してください。

パーソナル無線の改造にはある程度の知識と技術、
また、機種により専門的な工具や機械が必要です。
弊社の改造取説は、上記の事項をふまえて作成してあります。

PQ-10・PC-10D・FC-5 *1280CH* 取扱説明書

1，モードの切り替え

			2がセットされている場合
1 ＊ 0．	2 ＊ 0	1、ノーマルモード	5、４ｔｈダウンモード
1 ＊ 1．	2 ＊ 0	2、ダウンモード	6、５ｔｈダウンモード
1 ＊ 0．	2 ＊ 1	3、ダブルダウンモード	7、アップモード
1 ＊ 1．	2 ＊ 1	4、トリプルダウンモード	8、ダブルアップモード

＊ READY中やモニター中に、3キーでモードを切り替えられますが、表示が変わりませんので [#] キーで確認して下さい。

2，3 ＊ 1 ・・・ 自局の免許番号以外の番号が出力されます。さらに5分タイマーがカットされ5分たってもリセットしません。

3，4 ＊ 1 ・・・ 群番号に関係なく呼出してくるすべての局と交信可能。

4，5 ＊ 1 ・・・ 新機種（１５８ｃｈ）の1分間通話モードに対応しています。新機種を1分間通話モードで呼び出す時だけ使用する。（スキャンモードがハーフモードを含むスキャンになります。）

5，6 ＊ 1 ・・・ ６４０ｃｈオール待ち受け（スーパーマリオ）になります。1～4（5～8）のどのモードについてもコール．リコールが可能です。

6，7 ＊ 1 ・・・ スペシャルになります。また、すべての機能は、＊に続いて0を入力すると解除します。

7，8 ＊ 1 ・・・ メモリー10局待ち受けが可能になります。（表示を含めると１１局待ち受け）
8 ＊ 0 ・・・ メモリー9と表示群番号との2局待ち受けになります。

※ ダイレクトキーについて （リセットキーを押さないでセットするキー）

[1] キー ・・・ メモリー1に表示群番号がコピーされます。自局の群番号は変わりません。

[2] キー ・・・ ６４０ｃｈ（1～4）、１２８０ｃｈ（5～8）のモードが替わります。

[3] キー ・・・ モードが替わります。一回押すたびに1ダウンずつ下がる。

[7] キー ・・・ （モニター及び通話中）1／2ｃｈダウン。（1分間通話モードセットの場合１ｃｈダウン）

[9] キー ・・・ （モニター及び通話中）1／2ｃｈアップ。（1分間通話モードセットの場合１ｃｈアップ）

[#] キー ・・・ チャンネル表示をします。通話中は、送信が終わると自動的にチャンネルを表示します。

[4] ～ [6] ． [8] ． [0] キー ・・・ 通話中及びモニター中に [RST] キーの代わりに使えます。

※ 特殊群番号の設定、解読について
特殊群番号の設定及び解読が出来ます。

マイクキーの使い方

＊ キー ・・・・	Aに対応します。“H”を表示します。	ＳＥＬＥＣＴ ・・・ 0
	Bに対応します。“b”を表示します。	解読のみ。ＥＮＤ ・・ 1
＃ キー ・・・・	Cに対応します。“C”を表示します。	Ｐ．Ｔ．Ｔ． ・・・ 2
ＲＣＬ キー ・・	Dに対応します。“d”を表示します。	
	Eに対応します。“ ”を表示します。	解読のみ。
ＭＯＮ キー ・・	Fに対応します。“ ”を表示します。	

※ 特 徴

1）新機種対応
2）６４０ｃｈ待ち受け８０ｃｈ待ち受けの切り換え ＯＫ
3）コールされて、応答しなければ自動的にリセットします。送信後は解除します。
4）スキャンモードが切り換えです。（８０／１５８／３２０／６４０）
5）群番号を自動で解読します。しかも、自局の群番号は固定します。
6）５分タイマーカット
7）“０００００”リコール ＯＫ
8）モニター割り込み ＯＫ
9）特殊群番号が設定できます。
１０）リセット中、通話中にＳＥＬＥＣＴキーで群番号を変更できます。
１１）チャンネルをダイレクトに設定できます。
１２）モニター中、通話中にチャンネル、アップ、ダウン ＯＫ

1280CH専用の改造方法

ＥＰロムの２６番ピンをおこし、
ＣＰＵの２４番ピンにジャンパーする。
（配線でつなぐ。）